

資料 1

科学技術予測・政策基盤調査研究センター について

2021 年 5 月

文部科学省

科学技術・学術政策研究所

科学技術予測・政策基盤調査研究センターとは？

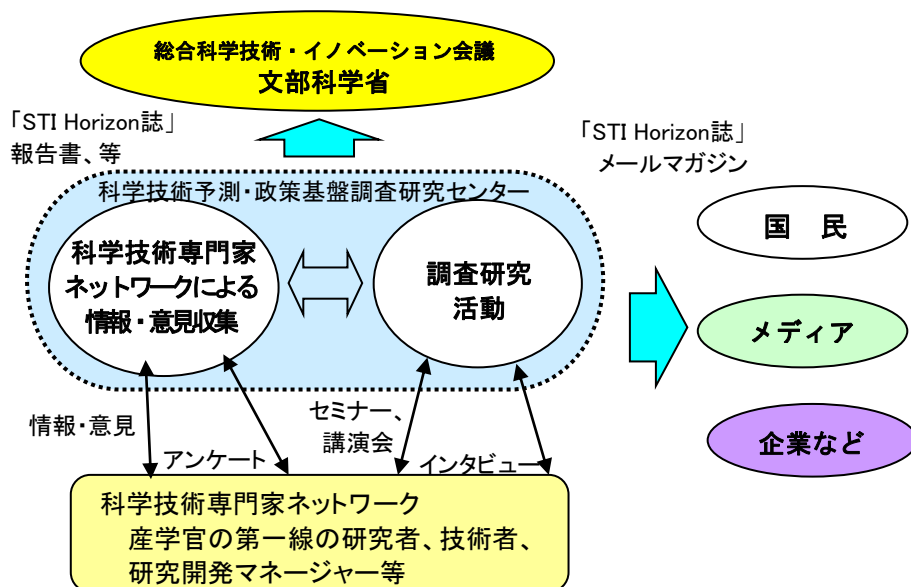
科学技術・学術政策研究所は、国の科学技術・学術政策の企画・立案に資する政策研究のために設置された文部科学省直轄の国立試験研究機関です。行政ニーズを的確に捉え、意思決定過程への参画を含めた行政部局との連携、協力を行うことが期待されています。

2001年、科学技術・学術政策研究所(当時:科学技術政策研究所)では、科学技術動向の調査・分析機能を充実・強化することを目的に、科学技術動向研究センターが設置され、2016年4月に科学技術予測センターに改組されました。

さらに、2021年4月に科学技術予測センターと科学技術・学術基盤調査研究室が統合し、科学技術予測・政策基盤調査研究センターが設置されました。科学技術・政策基盤調査研究センターでは、「科学技術動向及び将来予測に関する理論的及び実証的調査研究」(動向分析・予測研究グループ)と「科学技術・学術新興の状況と基本的な政策等に関する理論的及び実証的調査研究」(基盤調査研究グループ)を実施しています。

動向分析・予測研究グループでは、科学技術の動向及びそれを取り巻く社会の状況について、将来大きなインパクトをもたらす可能性のある変化の兆候をいち早く捉えることを目的に、将来の社会の見通しなどを含めた多面的な視点から俯瞰(ふかん)的かつ科学技術の将来を予測する体系的な調査(ホライズン・スキヤニング)などを行っています。

調査研究の成果は、STI Horizon誌(季刊)等に取りまとめ、政策立案の基礎資料として提供する他、それらの成果をとりまとめWebサイト上で幅広く公開しています。



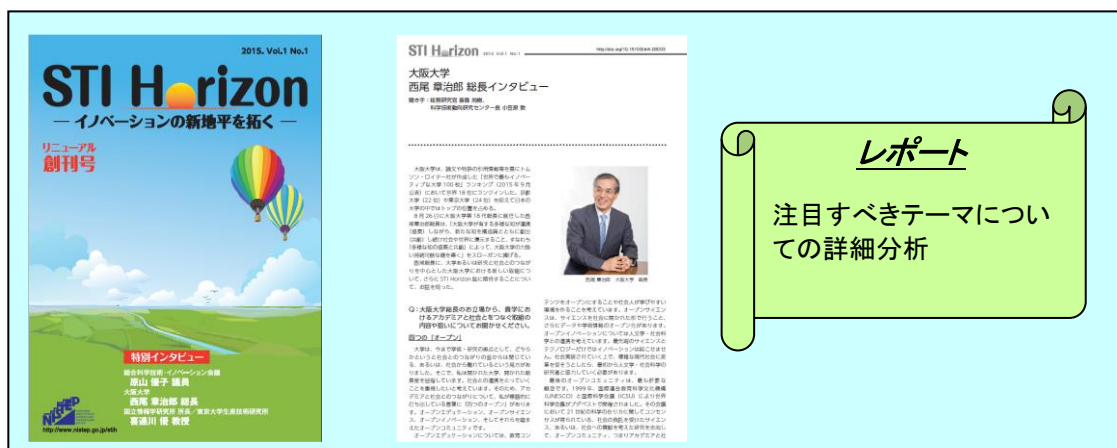
(1) 科学技術専門家ネットワークによる情報及び見解の収集

科学技術予測・政策基盤調査研究センターは、第一線の研究者・技術者等の専門家約2,000名の科学技術専門調査員から構成される、科学技術等に関する情報や見解を収集するための「科学技術専門家ネットワーク」を運営しています。第一線の研究者・技術者等の専門家約2,000名に向けて実施されるWeb上アンケートにより、短期間で専門家コミュニティの見解を収集・分析し、これらを調査研究の基礎情報として役立てるとともに、求めに応じ政策検討のための各種会合などに情報提供しています。

(2) 科学技術を取りまく動向の分析及び研究所全体の成果発信

科学技術予測・政策基盤調査研究センターでは、科学技術研究開発の方向性の変化、今後取り組むべき研究開発課題、科学技術システム諸要素の現状や問題点などについて、調査分析を行っています。これらの調査分析結果はその他の当研究所全体の研究成果とともに「STI Horizon誌」にまとめて掲載し、関連機関等に広く情報発信をしています。

STI Horizon誌



(3) 科学技術予測調査の実施と未来洞察に関する調査研究報告書の発行

我が国では1971年から約5年ごとに大規模な科学技術の予測調査が行われており、第5回(1992年)から当研究所が調査を担当しています。2019年には、第11回調査の結果の概要を公表しました。





文部科学省 科学技術・学術政策研究所
科学技術予測・政策基盤調査研究センター
動向分析・予測研究グループ

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-2-2

中央合同庁舎第 7 号館東館 16 階

電話: 03-3581-0605 FAX: 03-3503-3996

E-メール: stfc@nistep.go.jp